（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	在宅介護支援　つくしんぼ

公表日 令和7年5月1日

利用児童数 ５１名　　回収数

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	82%	18%			色々遊ぶ道具があり、ありがたい。	これからも衛生面に気をつけながら、子どもたちが安心して楽しく遊べるように、しっかり準備してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	91%	9%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	82%	18%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	98%		2%			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	98%		2%			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	98%			2%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92%	8%				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%			8%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%			8%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58%	8%		17%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	75%	8%	8%	8%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%			8%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25%	17%	17%	25%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92%			8%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50%	25%				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92%	8%				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17%	17%	8%	33%		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	8%				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	92%			8%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	8%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	8%		17%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75%	8%		17%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75%	8%		17%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	83%	8%	8%			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	92%	8%			利用希望日に使える日を増やしてほしい	要望いただいているものの、現在定員がいっぱいでご希望にお応えできない状況です。ご不便をおかけし申し訳ありません。今後、体制の見直しを進め、改善に努めてまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	在宅介護支援　つくしんぼ

公表日　令和７年　５月　１日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		静養室や広い庭を活用し、リラックスできるスペースや外遊びの場を提供しています。	定員が多いときは狭く感じることがありますので、棚やおもちゃの配置を工夫して、より快適な空間を作っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		職員同士での情報共有や連携を大切にし、少人数でも効率よく対応できる体制を工夫しています。	利用者が多い時間や活動中は目が行き届きにくくなるため、職員同士で役割を分担し、声かけや確認をこまめに行うよう工夫していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内は段差のないつくりにし、安心して過ごせる環境づくりを心がけています。	建物の一部に段差があるため、子どもたちが安全に過ごせるよう、環境の見直しに取り組んでいきたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こまめな消毒や清掃、定期的な環境整備で、子どもたちが清潔で気持ちよく過ごせるよう心がけています。	活動によっては手狭に感じることもあるため、レイアウトや整理整頓を工夫し、快適に過ごせるようにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こ子どもが気持ちを落ち着けたり集中できるよう、必要に応じて別室も活用できる環境にしています。	職員の目が届きにくかったり使いづらさを感じることがあるため、環境の見直しを進めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的なミーティングで意見を出し合い、目標の振り返りや改善点の共有を行うようにしています。	一部の職員に偏りがちな場面もあるため、話し合いや共有を増やし、みんなでPDCAに取り組めるよう工夫していきたいと考えています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価は職員で共有し、ご意見をもとに支援や環境の見直しに活かすよう心がけています。	反映しきれていない部分もあるため、今後はご意見の活用方法を見直し、よりよい改善につなげていきたいと考えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の中で相談しやすい体制を整え、職員の声を業務改善に活かせるようにしています。	意見を活かしきれていない部分もあるため、共有しやすい環境や反映の工夫を進めていきたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		必要に応じて外部評価を受け、その結果を業務改善に活かすようにしています。	職員が十分に把握できていないこともあるため、評価の目的や内容を共有し、業務改善への意識を高めていきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修機会が増え、Zoomや動画、対面で参加できるようになり、積極的に参加できる環境を整えています。	職員が自分に合った研修を選べるよう、今後は研修メニューを多様化し、ニーズに合わせた選択肢を提供していきたいと考えています。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで、いつでも確認できるように公開しています。	職員からのフィードバックをもとに、プログラム内容や公表方法を定期的に見直し、改善していきたいと考えています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		絵カードや保護者面談で子どものニーズを把握し、支援計画に反映しています。定期的に情報共有し、家庭と連携して柔軟に支援しています。	アセスメントの頻度と内容を見直し、子どもの成長に合わせて計画を柔軟に更新できる仕組みを強化したいと考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的なケース会を開き、個人記録を全職員で共有することで、情報の一致を図り、子どもの最善の利益を考えた支援を心がけています。	デジタルツールを使って、職員が支援計画についてリアルタイムで意見を交換できる環境を作りたいと考えています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		支援計画をLINEワークスで即時更新し、全職員がすぐに確認できる体制を整え、定期的なケース会で振り返りを行い支援の向上を目指しています。	計画の進捗確認や振り返りがスムーズに行えるよう、定期的なチェック体制を強化したいと考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		適応行動の確認には行動記録と個人記録を活用し、ケース会やLINE Worksで共有し、職員間の連携を強化しています。	適応行動の確認には個人記録と行動記録を使っていますが、定期的に見直し、子どもの状況に応じて改善していきたいと考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインを基に、家族のニーズを大切にしながら、本人や家族、移行支援、地域との連携を考慮した具体的な支援内容を整えています。	定期的な見直しとフィードバックを取り入れ、より個別対応を強化し、柔軟に対応できるようにしていきたいと考えています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは3名以上の職員で決め、内容を掲示して全職員で情報を共有し、意識を合わせています。	意見交換の時間を増やし、より個別化されたプログラム作成を進めるとともに、定期的な振り返りでプログラムの改善を図りたいと考えています。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは複数の職員で立案し、毎回異なる職員が担当することで、意見を出し合いながら固定化を防いでいます。	プログラム立案時期の固定化を避けるため、もっと新しい視点を取り入れ、柔軟に対応していきたいと考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		毎日のミーティングでこどものニーズや状況を共有し、適切な活動内容を検討することで、より効果的な支援を目指しています。	こどもの成長や変化に合わせて、活動内容を迅速に見直す仕組みを強化し、個別のニーズにもっと対応できるようにしたいと考えています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝と昼のミーティングで情報を共有し、支援内容や役割を確認し職員間で連携を深め、こども一人一人に適切な支援ができるよう心掛けています。	情報を分かりやすく整理し、すぐ行動に移せる形で共有できる仕組みを整え、支援の質を高めていきたいと考えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		支援後はLINE worksで振り返りを共有し、翌朝のミーティングで意見交換を行うことで、気づきや改善点を次回の支援に活かしています。	振り返りを全職員がすぐに確認できるよう、共有ルールやフォーマットを整え、情報に漏れがないよう工夫していきたいと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳や個人記録を活用して記録を残し、必要に応じて職員間で情報を共有しています。	記録の内容や形式をそろえて、よりスムーズで一貫した情報共有ができるようにしていきたいと考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にケース会を開き、こどもの様子をみながら、必要に応じて放課後等デイサービス計画を見直しています。	件数が多く時間がかかることが課題ですが、今後は情報を効率よく整理し、よりスムーズに見直しができるよう工夫していきたいと考えています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		個別活動ではこどもの特性に合わせた支援を行い、振り返りや保護者とのやりとりを通して、無理のない一貫した支援を心がけています。	活動に偏りが出ることもあるため、今後はバランスよく組み合わせながら、より柔軟で多様な支援ができるよう工夫していきたいと考えています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遊びやイベントを通じて、こどもが自分で選ぶ機会を提供し、自己決定力を育んでいます。	選択肢が限られがちなので、今後はもっと多様な選択肢を用意し、自己決定力をさらに育んでいきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議では、こどもの状況をよく理解した職員が参加し、具体的な支援内容やエピソードを共有することで、情報がスムーズに共有されています。	情報が口頭で伝わるため、時々齟齬が生じます。今後は会議前に文書で支援内容を共有し、より正確な情報伝達を目指します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市役所や学校、相談支援事業所と連携し、こどもにぴったりの支援ができるような体制を整えています。	情報共有のタイミングや方法に改善の余地がありますので、今後はよりスムーズで効率的な連携を進めていきたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		校からの手紙やホームページで年間計画や行事予定、下校時刻などの情報を得て、送迎やトラブル時の連絡も迅速に行い、スムーズな連携を心掛けています。	よりスムーズに情報を共有できるよう、連絡手段やタイミングを見直し、連携をさらに強化していきたいと考えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		受け入れ時や引渡し時に、担当者会議を活用して保育所や幼稚園と情報を共有し、互いの理解を深めています。	タイムリーに情報を共有できるように、連絡方法やタイミングを見直していきたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行時にモニタリング結果を保護者を通じてお伝えし、次の事業所に支援内容を共有しています。	情報提供をもう少し早い段階で行い、移行支援がよりスムーズに進められるように工夫していきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		職員向けに研修の機会を提供し、支援の質をさらに向上させられるよう努めています。	計画的にスーパーバイズや研修の機会を増やし、職員のスキルアップを目指したいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		コロナ禍の影響で地域との交流を一時控えていますが、感染症対策をしっかりと行いながら、再開に向けて検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会には積極的に参加し、地域のニーズや支援方法についてお互いに情報を共有しています。	参加する回数を増やし、もっと多くの情報や意見を交換できる機会を増やしていきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や受け入れ時、個人記録を使って保護者とこどもの状況を共有し、お互いに理解を深めています。	今後は、定期的に保護者とお話しする機会を増やし、情報の共有をもっと深めていきたいと考えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて、家族に情報をお伝えし、ペアレント・トレーニングや研修の機会についてもお知らせしています。	研修の提供が難しく、保護者へのペアレント・トレーニングの案内が十分でありません。案内方法を見直し、参加しやすくしたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契契約やサービス変更時には、運営規程や支援内容、負担額などをわかりやすく説明し、安心して理解いただけるよう心掛けています。	もっとわかりやすく伝えられるように、説明の仕方やタイミングを見直して、工夫していきたいと思っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		課後等デイサービスの計画はその都度ご提示し、支援内容を丁寧に説明。保護者の皆さまにもご理解・ご協力いただいています。	保護者の意向をより正確に把握するために、面談やアンケートなどを活用して、意見を伝えやすい環境づくりが必要だと感じています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		連絡帳や送迎時に保護者の方とお話しし、必要に応じて面談も実施。お悩みに寄り添いながら、できる限りの助言やサポートを行っています。	計画内容をより深く理解できるよう、説明の方法やタイミングを工夫していく必要があると感じています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳や送迎時に保護者の方と情報を共有し、必要に応じて面談も実施。お悩みに対してアドバイスやサポートを行っています。	保護者の方から深刻なご相談があった場合に、できるだけ早く対応できるよう、もっと面談の機会を増やしていく必要があると感じています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		コロナ前には保護者会やきょうだい同士の交流の場を設けていましたが、感染症対策のため、現在は行えていません。今後は状況を見ながら、少しずつ再開していけたらと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応のための窓口を設けており、その都度、必要に応じて迅速で適切に対応していると考えています。	対応の流れや対応時間を明確にし、全員にしっかり周知することで、さらに迅速で一貫した対応ができるように改善していきたいと考えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にSNS（マチコミ）で写真や情報を発信し、活動内容や行事予定、連絡方法などをわかりやすくお伝えしています。	定期的に更新し、保護者の方が見やすい時間帯に発信することで、情報が確実に届くよう工夫していきたい考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は利用者別にファイルし、鍵のかかる書庫で管理しています。	デジタル化や暗号化を進め、アクセス制限を強化することで、さらにセキュリティ面を強化していきたいと考えています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		送迎時や連絡帳、電話連絡などを通じて、障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達を必要に応じて行っています。	LINEやメール、視覚的な支援ツールなど、さまざまな方法を活用して、もっと迅速で分かりやすい情報提供を心がけていきたいと考えています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在はコロナ対策で地域との行事は控えていますが、今後は感染対策を行いながら、小規模な集まりなどで再開していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員やご家族にも周知。万が一に備え、想定した状況での訓練も行っています。	マニュアルを定期的に見直し、職員の意見も取り入れながら、家族向けの説明会や実践的な訓練を強化し、対応力を高めたいと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を作成し、非常時に備えて、年に2回、避難や救出の訓練を行っています。	さまざまなシナリオを取り入れて、訓練後に評価やフィードバックを行い、対応力を高めていきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		その都度、必要に応じて保護者との確認を行い、個人記録で情報を共有し、発作時の対応ファイルを作成して情報交換を行っています。	定期的に情報を更新し、保護者との確認や職員間の共有を強化して、より良い対応を目指しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者と連携し、医師の指示に基づいて対応しています。食物アレルギーがある子については、リストを作成して、分かりやすく管理しています。	アレルギー情報を定期的に見直し、職員への教育や研修を強化することで、医師の指示に基づいた対応をさらに改善していきたいと考えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理のための研修や訓練を行い、必要な対策もしっかりと整えています。	安全計画を定期的に見直し、研修内容を多様化することで、より効果的な安全管理を目指しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		災害時の送迎や連絡方法を確認し、安全計画を家族に伝達。マチコミ（SNS）で情報を共有しています。	定期的に情報を提供し、家族からの意見を聞くことで、安全計画をもっと効果的に伝え、連携を強化していきたいと考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例をまとめ、LINEワークスで職員と情報を共有し、再発防止の対策を考えています。	ヒヤリハットの重要性と再発防止策について、職員研修を行い、意識を高めて効果的な対策を進めたいと考えています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会で研修計画を立て、職員の研修の機会を確保して、適切な対応ができるようにしています。	修後に職員の意見を聞き、内容を改善して、より効果的な虐待防止対策を進めていきたいです。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者に説明し、身体拘束への理解を得ています。また、方針を決める委員会を設置しています。	保護者とのコミュニケーションを大切にし、身体拘束への不安を解消する窓口を設け、安心して理解いただける環境を作りたいと考えています。